



平成18年4月5日

各 位

株式会社創通エージェンシー
代表取締役社長 湯浅 昭博
(コード番号 3711)
問い合わせ先 取締役管理グループマネージャー
出原 隆史
電話番号 03 - 3248 - 0311

平成18年8月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年8月期中間期(平成17年9月1日～平成18年2月28日)の(連結・単独)業績予想について、平成17年10月20日付の当社「平成17年8月期決算短信」にて発表いたしました(連結・単独)業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成18年8月期中間期連結業績予想数値の修正(平成17年9月1日～平成18年2月28日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,000	880	460
今回修正予想(B)	6,846	991	465
増減額(B - A)	846	111	5
増減率(%)	14.1(%)	12.6(%)	1.1(%)
(ご参考) 前期実績(平成17年8月期中間)	6,278	848	430

2. 平成18年8月期中間期単独業績予想数値の修正(平成17年9月1日～平成18年2月28日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	4,800	690	390
今回修正予想(B)	5,569	776	390
増減額(B - A)	769	86	0
増減率(%)	16.0(%)	12.5(%)	0.0(%)
(ご参考) 前期実績(平成17年8月期中間)	5,276	651	355

3. 修正理由

当連結中間期におきまして、メディア事業では、「capeta」等アニメーション番組のプロデューサーが計画通り推移したことに加え、第三四半期に予想していたアニメーション番組の制作受託が制作スケジュールの関係から前倒しで受注したことが売上高増加の要因となっております。

また、ライセンス事業では、主力キャラクターの「ガンダム」シリーズにおいて、映画「機動戦士Zガンダム」の公開に関連し、プラモデル等の販売が好調だったことに加え、第三四半期に予想していたキャラクター商品発売が前倒しになったこと等による著作権収入の増加が売上高増加の要因となっております。

この結果、連結売上高について当初予想を846百万円上回る6,846百万円となる見通しです。

同様の理由により、単独売上高についても当初予想を769百万円上回る5,569百万円となる見通しです。

4. その他

通期(平成17年9月1日～平成18年8月31日)の(連結・単独)業績予想につきましては、下記の通り変更ございません。

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	12,300	1,620	875
単 独	10,500	1,410	795

尚、本資料に記述されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスク及び不確実性を包含しております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以 上